

法人会ニュース

そうそう

第23号

発行所
相馬市中村字桜ヶ丘71
(社)相双法人会
発行人
桜井文博
編集委員会
発行日
平成16年1月10日



支部自慢コーナー

②③ 葛尾村

毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り等を掲載し紹介します。

阿武隈高原中部県立自然公園「五十人山」山麓の緑に囲まれた中に「みどりの里せせらぎ荘」があります。

ここには、みずみずしい若葉や燃え立つ紅葉、澄み切った青空や満天の星空。四季折々の自然の中に、心を癒してくれるやさしいせせらぎの音が聞こえてきます。

せせらぎ荘は、村営の公共の宿として宿泊・日帰り入浴・昼食・各種宴会・法要等に利用できる施設です。宿泊室は、和・洋室七室あり定員は二十八名です。お風呂はゆったりとしており、入浴後は無料休憩室でくつろぐことができます。食事は、地元の人たちが作った野菜や裏山で採ってきた山菜・キノコなど季節の体にやさしい食材を使ったお母さんの愛情がこもった料理が味わえます。

山村家庭のおもてなしをモットーに地域のお母さんたちによるあたたかなサービスでご来館をお待ちしております。

予約受付 0240 (37) 4800

【休館日：火曜日】

謹賀新年



(社)相双法人会会長

桜井 文博

平成十六年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、社団法人相双法人会の運営につきまして、会員各位の多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年を顧みますと、アメリカと中国の好況を受けて、一部には徐々に景気の明るさが見え始めましたが、これはまだ日本経済の自力による回復とはいえません。

長いデフレで疲弊した地域経済はいまだに本格的な立ち直りの兆しは見えません。加えて政府筋から聞こえてくるのは、消費税率の引き上げや、年金保険料率の引き上げなど、おおよそ日々の経営に悪戦苦闘している経営者の意欲を阻害される話ばかりです。

会員各位におかれましては、この悪条件のなか、苦慮され

ている企業も多いかと存じます。しかしながら、私どもも新しい年を迎え、自ら企業を

活かす努力がさらに求められており、冷静な対処が必要であると考えられます。このような環境のなかでこそ、法人会が果すべき役割と責任は、

大なるものがございます。

法人会の基本指針は、「よき経営者を指すものの団体」として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に貢献することとなっております。

社団法人相双法人会として、「企業は人なり」後継者育成を最重要と考え、会員増強に努め、よりいっそうの組織強化を図って参りたいと思っております。

以上、年頭にあたり所感の一端を申し述べましたが、本年も相双地域十支部が一丸と

なって、地域に密着した幅広い貢献活動を通じ、その使命を達成のため取り組んで参りたいと存じますので、役員・会員皆様の一層のご支援・ご協力を心からお願ひ申し上げます。



本年もよろしくお願ひ致します。

◆常任理事

◆理事

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 渡部忠直 | 佐藤秀一郎 | 小野秀雄 | 櫻井芳夫 | 大久保晴敏 | 菊地逸夫 | 八巻正隆 | 福山真久 | 八巻一昭 | 早川宗延 | 佐藤信夫 | 立谷幸雄 | 菊地成一 | 坂本行生 | 関本甫征 | 小畑俊明 | 富沢俊一 | 原田雄一 | 吉田和夫 | 濱田幸政 | 鈴木昌一 | 庄司公正 | 若盛孝之 | 横山光男 | 只野裕一 | 荒井宏美 |
|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

◆監事

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|
| 田代豊 | 関場啓 | 石原政博 | 坂本寿昭 | 名嘉幸照 | 猪狩廣安 | 猪狩誠光 | 磯町文彦 | 青田正人 | 斎藤清孝 | 岩本俊秀 | 吉田俊隆 | 神長倉豊平 | 佐藤浩治 | 大沼喜八 | 松原利夫 | 鈴木中藤 | 田中原俊夫 | 菅野常一 | 太田常雄 | 竹内雄一 | 松永清重 | 鈴木木一 | 遠藤修 | 伊藤博隆 | 高橋人助 |
|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|



相馬税務署長
落合 隆男

平成十六年の年頭にあたり、相双法人会の皆様方に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

法人会会員の皆様方には、日頃から、税務行政全般にわたり御理解と多大なる御協力を賜り、紙面をお借りいたしまして心より感謝申し上げます。

さて、昨年の国内経済は、イラク戦争・新型肺炎（SARS）・冷夏など不透明な要因に覆われ、景気回復が思わしくありませんでしたが、米

国経済の景気回復や国内企業の業績回復を背景として徐々に持ち直し、景気の「底打ち感」が急速に広がりを見せた一年と思われま

え、健全経営に努力していただきたいと考えております。ところで、最近の税務行政を取り巻く環境は、これまでになく大きく変化しております。

私も、納税者の利便性や税務情報等の提供を行いながら、税務行政の透明性の確保と説明責任を果たす最大限の努力を行い、国民の理解と信頼を得ていく必要があると考えております。

今年初めに、「確定申告期における閉庁日対応」を行うこととしております。平成十五年分確定申告期間中は、平日以外でも県庁所在地の税務署では、二月二十二日と二十九日の日曜日に限り、確定申告の相談・申告書の受付を行います。福島県では福島税務署が開庁することとしております。

次に、「電子申告・納税システムの導入」ですが、今年の六月の全国導入に向けe-Taxの利便性をアピールし普及に向けて積極的に取り組んでおります。

さらに、四月一日から施行される改正消費税法は、多くの事業者に影響を与えることから、新規課税事業者等に対

象とした研修会を開催し、消費税の仕組み・記帳記録保存などについて説明を行うこととしております。

このように、税務行政も大きく変化しており、法人会の皆様方の更なる御理解と御協力を賜りたいと考えております。

最後に、新しい年が相双法人会の益々の御発展と会員皆様方の御繁栄の年となりますようお祈りいたしまして、年頭の御挨拶といたします。



新地支部長
角田 義正

平成十六年の年頭に当たり、相双法人会の皆様方に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年中は、会員並びに役員皆様方の御協力により、大過なく全事業を終えることができました。誠にありがとうございました。

昨年、日本人外交官殺害という、なんとも悲しいニュースで幕をとじてしまいました。イラクの治安は、ますます

悪化が進んで、悲惨な死の恐怖を与えています。

わが国は、この様な状態を把握しているにもかかわらず、陸上自衛隊を派遣する事を閣議決定しました。この自衛隊の家族や両親たちの心境を考えますと、わが身を削られる思いでいっぱいです。自衛隊派遣と国益との重みはどこにあるのでしょうか。

そんな中での法人会活動、状況はかなり厳しいものであります。一人一人が原点にかえり、努力していかなくてはなりません。

今年も昨年以上、前向きな姿勢で法人会活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方の御協力の程宜しくお願い申し上げます。



相馬支部長
立谷 一郎

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様には、平成十六年をこ

ば健にてお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、私が支部長に選任されまして、早いもので八ヶ月が過ぎました。平成十五年度

の各種事業におきまして、会員の皆様のご指導ご協力を頂きまして成功裏に終えることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

昨前半は、イラク戦争、朝鮮半島情勢、SARSの流行など厳しい状況にありましたが、後半より中央においては、企業業績の回復等、明るい兆しが見えてきたとの見方もあるようです。しかし我々地方においては、依然として不透明な状況であり、未だ予断を許さない状況にあると思われま

す。しかし明るい兆しもあるとのことですので、前向きに希望をもって進みたいと思

います。本年も、法人会活動を通じて、会員の親睦、拡大をはかり、事業充実発展に努め、全力を傾注して取り組んで参りますので、皆様のご指導お力添えを頂きます様お願い申し上げます。





鹿島支部長
竹林 源綱

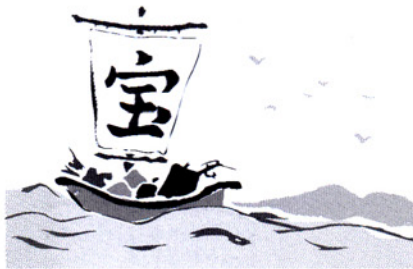
新年明けましておめでとう
ございます。会員の皆様には
ご健勝にて新年をお迎えにな
られた事とお喜び申し上げます。
昨年は近年にない冷夏の
影響で農業・商工業者にとつ
て大きな打撃を受けました。
今後さらにきびしい経済環境
が予想されます。当支部では
デフレ経済や消費低迷の中、
企業経営に役立つための「経
営セミナー」を昨年十一月鹿
島町商工会館にて、演題「こ
うすれば企業は生き残れる」
で横山良春氏（相双信用組合
鹿島支店長）・草野有道氏（企
業存続・賃金コンサルタント）
両名を講師に迎え開催しま
した。横山良春氏から「金融
機関の環境変化と今後の課題
方法と対策」の講話が行なわ
れました。内容は①役員報酬
の見直し②六十歳以上最適賃
金提案③残業手当の見直し④
人事整理⑤将来リスク除去
（年金）⑥生命保険の活用
等々でした。参加者からは今
後の経営に役立つ有意義なセ
ミナーだったと好評でした。



原町支部長
寺島 岩男

長引く景気低迷で、会員の減
少が進んで居ります。会員企
業の保険に対する意識の変化
等により法人会の福利厚生制
度を取り巻く環境は依然とし
てきびしいものが有りますが、
福利厚生（大型保障）制度の
拡充又は会員増強についても
より推進を図って行きたいと
思っております。会員皆様の
ご協力の程よろしくお願い申
し上げます。
最後になりましたが会員皆
様のご健勝と企業のご発展と
ご祈念致しまして新年のご挨拶
とさせていただきます。

新年明けまして、おめでと
うございます。
昨年中は、皆様には会員増
強運動、「第3回うつくしまY
OSAKOIまつり原町大
会」開催に伴う協賛等ご協力
を頂き有難うございました。
さて、昨年は、米英軍がイ
ラクを攻撃、フセイン政権は
崩壊したものの、爆弾テロは
まだ続いており、国際的にも
不安な要素を残すところとな
っております。



日本経済は、海外景気の時
ち直しにより輸出が増加し、
緩やかな回復基調ではあるも
の、地方銀行の経営破綻に
よる一時国有化。有力企業の
民事再生申立。又、10年ぶり
の冷夏にみまわれ、夏物衣料、
エアコン等関連業界に大きな
影響を与える等中小企業を中
心に、厳しい状況になってお
ります。
このような状況下、「よき経
営者をめざすもの」の団体と
しての法人会の存在意義を見
直し、会員企業の役に立つ法
人会。会員の皆様から「入会
してよかった」と言ってもら
えるような魅力ある法人会を目
指し、さらに努力して参りた
いと考えておりますので、こ
れからもご指導、ご協力をお
願ひし、新年のご挨拶と致し
ます。



飯館支部長
高橋 英明

謹賀新年、会員の皆様には、
つつがなく新年を迎えられた
事とお慶び申し上げます。又
昨年中は、いろいろとお世話
になり大変ありがとう御座い
ました。

いまの経済状況は製造業、
サービス業を中心を持ち直し
の傾向がみられるとの報道が
ありますが、現実には我々の住
むこの地域は、出口の見えな
い厳しい経営環境に有り、ま
だまだこの状態が続くものと
思われます。このような時こ
そ経営者自ら先頭に立ち初心
に帰り事業運営に当たる事が
大事です。

法人会は「健全な納税者団
体」であると同時に「よき経
営者をめざす者の団体」とし
て全国組織で国政に対し税の
各種提言・要望等を行なって
います。地域にあつては、異
業種間の交流、社会貢献活動
等を主体に活動しています。
当支部としましても方針にの
つとり、組織率の向上、会員
親睦の為の交流を進めて行く
所存ですので宜しくお願い致
します。



小高支部長
菅野 萬正

最後にになりましたが、
会員各社の増々の御隆盛と御
多幸を祈願申し上げ挨拶と致
します。
十一月の九州場所で初日か
ら十一日目に勝ち進んで来
た、大関の栃東が、土佐の海
に負けはしたが、とにかく十
三勝二敗で優勝を果たした。
以前の栃東関とは、別人の様
に違った相撲をしていた。

毎日、大関栃東の出るテレ
ビの時間を見計って観戦して
おりましたが、以前の場所と
なんでこうも気合が入ってい
て違って見えた。前場所と今
場所との短い期間にこんな
体を鍛える事が出来るものか
と、もともと、鍛えに鍛えた
身体ではあるがそんなに急に
鍛え上げられるものではない
と思います。今場所は身体を
鍛えた外に技術と気合とか気
力とかがプラスされた相撲で
はなかったのかと思っており
ます。
何事も気合、気力、本気で
事に当たれば鍛えた体に力が
倍にもなつて発揮出来るもの

なので。
ここで本気に付いてこんな詩があります。

本 気

本気ですれば

大抵の事は出来る

本気ですれば何でも面白い

本気でしていると

誰かが助けしてくれる

人間を幸福にする為に

本気で働いている人間は

みんな幸福で、みんな偉い

昭和の教育者で詩人でもあった後藤静香さんの詩で人生を本気で生きる大切さを教えたものです。本気とは、真剣な気持ちの事ですが、それで事に当たれば出来ない事は無いのです。

何かを目標にきめていても、それが達成出来ないのは本気でないからなのです。

今年はずべての事に本気で取り組み栃東閣の様に榮譽を得る年になりたいと思います。

会員増強も本気で取り組み目標を達成し新しくなられた会員は勿論、全会員の幸福を願う本気でこれに当たります。



浪江支部長
熊川喜八郎

新春のご挨拶をさせていただきます。

昨年は国内外共大変な年であつたとおもいます。取り分け私共法人会にとりましては、経済的な問題が一番身近に感ずる事ではなかつたかと思ひます。ほんの一部の企業を除けば、景気が良くない・仕事が薄い・儲かる仕事がない等々耳を塞ぎたくなる話ばかりで過ぎて来た様な気が致します。

新年早々あまり不景気な事ばかり書きたくありませんので愚痴はこの辺で止めまして新しい年を迎え、今年は景気も回復し皆で明るい話がどんな出来る様な環境になつて、希望を持てる社会になる事を望みます。

景気が良くなれば、税金の事も気になるだろうし関心も出てくると思ひます。税金に関心があれば法人会の存在も理解出来ると思ひし会員増強にもつながる、会員が多くなれば英知も出る、そして活性化されより多くの活動も出来る。

る。その様な年になる事を御祈念申し上げ年頭のご挨拶にさせていただきます。



双葉支部長
松本 定雄

明けましておめでとうございませう。

昨年は経済環境に明るさが見え景気の底入観が出てきたとは言え、中央では大手銀行の破綻、県内でも大手企業、老舗の次々の破綻など全く厳しい環境が続いております。我々卸・小売業なども右肩下りがこしばらく続いております。これを打破するには、やはり情報化社会を十二分に活用し、しっかりと目標を立て全社一丸となつて自助努力をする。この事以外にないと思ひます。

そんな中で法人会の活用も大いに意義があります。異業種間の交流が叫ばれてから久しくなります。積極的に各事業に参加し交流を深め、ヒントを掴み自己研鑽に努める事が肝要かと考えます。

今年も双葉支部は事業費をフル活用し研修に親睦に力を尽してまいります。また本部

事業としても研修委員会の分野では新春講演会(常磐興産・斉藤社長)各種講習会や会員親善ゴルフ大会なども計画しております。そして皆様から法人会に入って良かったと満足されるよう今年も精一杯がんばります。何卒よろしくお願い申し上げます。



大熊支部長
鈴木 充男

明けまして おめでとうございませう。

私どもの業界でも長年続いた老舗の会社、昨年十月で廃業されました。廃業といえは聞こえはいいですが、実際には企業「死」を意味します。解雇された社員さんたちの気持ちを考えれば、他人ごととはいえ胸の締め付けられる思いです。私は経営者としてこのことを真剣に受けとめ、命懸けで会社の永続と自社の改革に取り組みもうと思ひます。

どの業種にも言えることですが、この不況下にあつても年々業績を伸ばしているところもあるようです。いったいどこが違うのでしょうか。

昨年十二月にWMC会津繁

盛店視察ゼミに参加しその理由が分かりました。

いま不況で苦しんでいる会社の経営は『自分の利益追求型(20世紀型)』であり、いま繁盛している会社は『顧客満足優先型(21世紀型)』の経営を貫いておられるということです。繁盛店に学び、自社のお役立ちを再認識し、顧客満足を実践しないと生き残れない年になりそうです。

今年も勉強会を数多く開催し、当法人会を学びの場として、共に成長していきましよう。



富岡支部長
藤沢 徳義

新年明けましておめでとうございませう。会員の皆様には、つつがなく新年を迎えられた事と、お慶び申し上げます。

さて、日本の景気動向は、経済全体的には緩やかな回復基調にあります。地方においては今なお回復の兆候は見受けられず予断を許さぬ状況であります。富岡町においては東京電力事故隠蔽による消費の自粛は、景気の落込み・規制緩和により急速に体力を

消耗していた当地区の企業活動停滞に更に追い打ちをかけました。

こうした状況を反映してか否か、支部会員数は減少の一途をたどっております。法人会活動に魅力がないのか。はたまた私の支部長としての努力が足りないのか。自問の日々が重なるばかりです。

組織・財源強化のために毎年実施している新規会員募集活動を実りあるものにするためにも、『法人会』とは地域・法人企業にとって、どの様な役割を果たせるか。会員に対しての様なメリットを提供できるのか。改めて考慮すべき時期がきているように感じます。

本年度は役員一同結集し、英知を絞り『法人会』の存在意義を検討すると共に、会員・地区内の法人企業にとり魅力ある支部活動を開催していく所存であります。

本年も変わらぬご支援、ご協力をお願いすると共に、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



青年部会長
菊地 成一

新年明けましておめでとうございます。

本年も、ご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。

さて、法人会全国青年の集い「鹿児島大会」が、昨年十一月二十、二十一日両日、鹿児島市の城山観光ホテルで行われました。

相双地区より、私と相馬の荒井君、浪江の牛来君、富岡の鈴木静雄君の四名が参加しました。鹿児島といえば幕末には会津藩に攻め込んだ維新軍の先鋒薩摩藩をどうしても意識しがちであります。しかし、先人のわだかまりを捨てて、困難な時代に立ち向かう若き志士同士が全国から桜島のもとに集結しました。福島県連からも四十二名が参加しました。

部会長サミットは経営者の直面している問題を円卓を囲み真剣に討論しました。小泉構造改革の影響や大企業の地方進出、消費の低迷など難問山積の自大です。いかに対処すべきかの貴重な意見をたく

さんいただきました。まず社長が会社の先頭に立ち、社会情勢に高くアンテナを立てて時代を予感し、自社の進路を明確に社員の皆さんに理解してもらおう。そして会社一丸となつて目標達成に向けがんばる事を今年のテーマにしたところでは、考えたら行動、そして反省。フィードバックを繰り返せば昨日より今日、今日より明日と成長できる企業にしたいものです。社長のすばい決断とそのタイミグがいかにか大切か。立ち止まつて悠長に考えているときではないことを全国大会で学びました。

城山の高台より錦港湾に聳え立つ桜島を見下ろしながら日本の将来を予見した西郷隆盛に思いを馳せて、芋焼酎の香りに酔いしれたひと時でした。このような機会をいただいた事に深く感謝いたします。



女性部会副部長
坂本テル子

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、国外では、イラク戦争、多発するテロ事件、北朝鮮拉致問題等と、緊張の連続でありました。

また、国内は、デフレと不況にともなう企業倒産、リストラなど、深刻な経済状況で、一日も早くこの暗い洞窟を抜け出て、一筋の光をと念じて過ごした一年でありました。

ここにきて、少しづつではあります、経済の持ち直しの傾向が見えてきたとの報道も出て、柔らかな日差しが、今年こそ、注し込んでくることを願わずにはいられません。

さて、十六年度女性部会は、全法連女性部会連絡協議会の設置が予定されており、全国組織の仲間入りを致します。大いに飛躍の年になることと、思います。

つきましては、当女性部会も、各研修会、講演会を開催

し、皆様のお役に立てる部会を目指し、法人会組織の中で、着実に活動して参りますので、会員の皆様の積極的なご参加、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員各社のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



大同生命保険㈱
原町営業所長
吉田 啓一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は役員、会員様各位のご協力により、受託させていただきました。法人会大型総合保障制度の推進も順調に推移し、県下10単位の会中でも有数の役員企業加入率と会員企業加入率を誇る業績を残すことが出来ました。貴法人会担当の営業所として、これほど嬉しいことはありません。わたしを初めとして推進員一同、年度末までのさらなる推進をと意気盛んなところで、この制度はご存知のとおり、

全国法人会総連合が昭和46年に創設して以来、弊社が受託会社として負託にお応えして



いるのですが、推進することにより貴法人会にも副次的にご貢献させていただいているものと信じております。

新年もさらなる推進に邁進して参りますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後に、会員企業の皆様のご繁栄をお祈りして、新年の挨拶とさせていただきます。

事務局紹介



◆浪江支部葛尾地区事務局の
遠藤 正紀さん

をご紹介します。

葛尾村商工会職員
役職 経営指導員

Q: 事務局を担当して何年になりますか?

A: 今年の7月1日付で安達郡岩代町商工会から異動して来たばかりです。自宅は田村郡常葉町です。

Q: 今まで担当して思うことは?

A: 着任したばかりでまだわかりません。これから頑張ります。

Q: 趣味は?

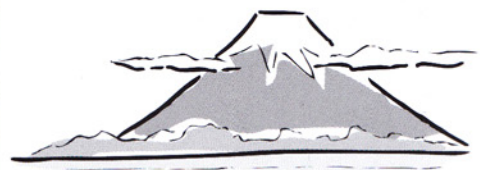
A: ドライブとテニス

Q: 支部のおすすめスポット!!

A: 表紙でも紹介した

「せせらぎ荘」です!

(これからよろしくお願い致します。)



支部だより

新地支部

新地支部では、昨年、大好評であった「マツタケ狩り」を、10月7日に実施しました。参加者は昨年のリベンジを目標にされている方や会員事業所の従業員の皆さん総勢30名で、沢山のマツタケ収穫を期待し、新地町を元気に出発しました。

絶好の秋晴れ中、紅葉を楽しみ色々な話題で盛り上がりながら、山形県高島町に到着しました。現地では、逸る気持ちを抑え、高島ワイナリーを見学し、ワインの試飲とお土産の調達をしました。

そして、いよいよ待望の「マツタケ狩り」です。しかし、現地のガイドさんからは、数日前の入山者も全くだめ、今年是不作で宝探しと同じ位難しいとの説明…。いきなりの暗い話題に動揺しながら、斜面を登り宝探しが始まりました。



高島ワイナリー来場記念

ガイドの説明の通り、落ち葉だけが目立ち、全く見つかる気配がありません。

そのような中、周りから「あった」の声!! 大きなマツタケが採れました。この一声で皆の動きと目の色が変わり、案内人の指導や野生の感で、次々に見つけ全部で10本以上(昨年より大きめでした)採ることができました。

この後、マツタケをふんだん使った御飯、土瓶蒸し、鉄板

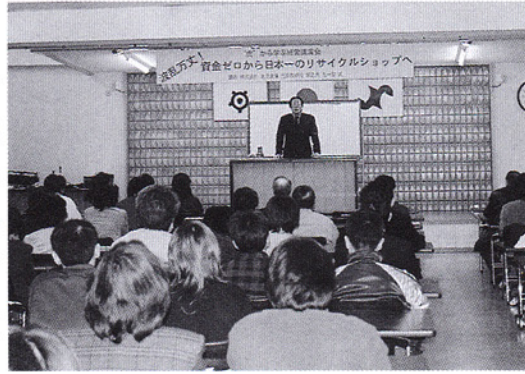


焼、米沢牛のすきやきなどの絶品の料理の数々に舌鼓を打ち、大満足の様子でした。帰りの途中には、小原温泉に立ち寄り、ドロや汗、1本も採れなかった悔しさを全て洗い流し、裸での親睦も図ることができました。

参加者の皆さんは、マツタケと沢山のお土産を抱え、大好評の内に親睦事業を終了することができました。今後、会員に喜んで頂ける、親睦事業を積極的に開催するとも、この事業を法人会加入のメリットとして、加入率100%を目標に会員増強運動を展開して参りたいと考えております。

原町支部

原町支部では、12月16日、原町商工会議所中小企業相談所と共催で、(株)生活倉庫 代表取締役 堀之内九一郎氏を講師に招き「波乱万丈！資金ゼロから日本一のリサイクルショップへ」のテーマで経営講演会を開催しました。



堀之内氏は、現在、日本テレビ「マネーの虎」に出演、コメンテーターとしても活躍中で、講演会では、数々の事業に失敗後、ゴミ拾いから再起。わずか10年で業界トップクラスの企業に成長するまでの、自らの波乱万丈の人生と、成功の秘訣、事業経営への熱き思いを語り、約100人の

受講者は、熱心に聞き入っていました。

浪江支部

浪江町の秋の風物詩である、十日市が今年も十一月二十二日から二十四日まで三日間開催され、約十二万人のお客様で賑わいました。法人会浪江支部では、昨年度より本部のご協力を頂きながら、法人会PR風船を十日市に配布し、昨年度は支部役員の方々のご協力を頂き、今年度は商工会女性部の方々の協力を頂きながら、全ての風船を配ることができました。

当日は、あいにく風が強く、割れたり、風に流されたりとハプニングもありましたが、多くのご家族の方々に喜ばれ、PRすることが出来ました。来年も、引き続きこの事業を実施し法人会のPRに務めて行きたいと思えます。

富岡支部

去る、11月6日福島県フアイナンシャルプランナーズ協同組合 理事長・税理士の鈴木正人氏を招き「銀行との上手な付き合い方講習会」を富岡町サンライズインとみおかにて開催した。

厳しい金融情勢の背景、各金融機関の金融格付けとは何かなど融資に対する諸問題から銀行マンとの対応策。また、経営改善計画書の書き方まで分かり易く具体的事例を基に講演会を開催致した。

自社の問題を解決するためには、自社の状況・従業員を良く把握しキャッシュフローを重視した経営体質へ転換し、計画と実績比較に基づく選考管理経営手法をとることが大切であると述べられました。また、自社の進むべき将来のビジョン・社員評価の明確化を図ること、及び3〜5年後の自社のあるべき姿・目標を明確化した経営改善計画書を経営者自ら作成し実行することで、経営者と従業員の結束を図り企業体質を改善していく事も大切であると付け加え講演を終えた。

新入会員紹介

(H15・4・1〜12・31)

相馬

ナリタサプライ

コーポレーション(株)

株エコフル

株土星建

株ワールドパーツ工業

(有)鹿狼の湯

(有)新成コンサルタント

田中液化ガス(株)

(有)シーエスシー

(有)ウスイサツシ工業

(有)大久保工務店

(有)鹿島警備保障

(有)原町共同企画

(有)窓建

株フジクラ

エンタープライズ

(有)末広

株ダブルエイト

(有)カシワテクノ

(有)さくら警備

(有)高ライスセンター

(有)タカハシ

あぶくま開発(有)

(有)オー・エー不動産管理

恒栄総合設備(株)

(株)安藤ポンプ工業所

(株)サンアクト東北

(有)はらまち旅行

(有)誠友

(有)熊谷

小高

(有)ジーダブリエー

エンタープライズ

(有)辺見設備工業

(有)野彩風土

(有)にしや

(有)すずしろ

(有)菓詩工房わたなべ

協小高スタンプ会

(有)自然果実おだかファーム

(有)ナカイコンピュータ

浪江 エンジニアリング

(有)只野工務店

(有)ふるやま

双葉 ネット・アンド・

プリント(株)

(株)シユトラウス

東洋電溶(株)双葉工場

中野運送(有)

大熊 エコー(株)

(有)セキセイ工業

(有)大和システムサービス

(有)ウインズトラベル

(有)シテイハウジング

(有)三光建設

(有)綿屋

以上50社

富岡

(有)セキセイ工業

(有)大和システムサービス

(有)ウインズトラベル

(有)シテイハウジング

(有)三光建設

(有)綿屋

以上50社

※H16年2月6日(金)

午後2:00〜

ラファイヌ(原町駅前)

新会員事業所税務研修会・

懇談会を開催致しますので、

万障お繰り合わせの上、ご出席下さい。

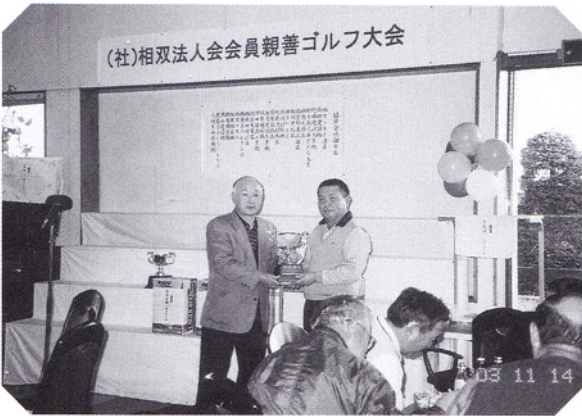




そうま市民まつり

H15.11.1(土)・2(日)

税の啓発活動



第7回会員親睦ゴルフ大会

鹿島カントリー倶楽部
H15.11.14(金)

コンペ結果

〈個人〉

- 優勝 鈴木 輝夫 協川興業(有) (富岡)
- 準優勝 小沢 敦 (有)小沢塗装工芸 (浪江)
- 第3位 佐藤 征利 (有)ジャンボ商事 (相馬)
- 第4位 佐藤 雅一 山佐興業(有) (相馬)
- 第5位 熊川喜八郎 (株)双葉紙器 (浪江)

〈上位4名団体戦〉

- 優勝 相馬支部 290.4
- 準優勝 浪江支部 294.8
- 第3位 富岡支部 295.6

* 賞品ご提供いただきました各社に、
心より御礼申し上げます。



新春講演会

社団法人 相双法人会

新春講演会のご案内

常磐興産株式会社
代表取締役社長

サイ トウ カズ ヒコ
斎藤 一彦



斎藤一彦プロフィール

【生年月日】 昭和20年 2月19日
 【勤務先住所】 本 社：福島県いわき市常磐藤原町藤平50番地
 東京本社：東京都中央区東日本橋3-7-19
 【学 歴】 昭和43年 3月 中央大学法学部卒業
 【職 歴】 昭和43年 4月 常磐湯本温泉観光株式会社入社（現：常磐興産株）
 平成 6年 11月 常磐興産株観光事業本部ホテルハワイアンズ総支配人
 平成 9年 2月 常磐興産株観光事業本部長
 平成 9年 6月 取締役就任
 平成12年 4月 常務取締役事業統括本部長
 平成13年 6月 専務取締役
 平成14年 1月 代表取締役副社長
 平成14年 6月 代表取締役社長就任（現在に至る）
 【団体職歴】 平成14年 6月 いわき商工会議所常議員
 平成15年 1月 日本経済団体連合会評議員
 平成15年 7月 いわき市サンシャイン大使
 平成15年 7月 観光カリスマ

日時 平成16年**2月27日**(金)午後2時～3時30分

会場 **ロイヤルホテル丸屋** (原町駅前)

講師 **常磐興産株式会社**

代表取締役社長 **斎藤 一彦**

テーマ 【「炭砒」から「観光」へ、そして「観光」へ】

主催/社団法人 相双法人会 共催/社相双法人会 青年部会・女性部会・相双優良法人懇和会

後援/相馬・原町商工会議所・相双地区商工会連絡協議会



お問い合わせ先

〒976-0042 福島県相馬市中村字桜ヶ丘71
 社団法人 相双法人会 TEL (0244) 36-5754
 ※入場整理券取扱場所 (社)相双法人会各支部事務局・各商工会議所・商工会

編集後記

明けましておめでとうございます。

2004年申の年はどんな年になるのでしょうか。昨年未の年は国内に目を向ければ「虎」という字が昨年をあらわす漢字だったとか。常勝を標榜する兎軍団相手に完膚なきまで痛めつけ美味しいお酒を飲めた一年でした。

兎軍ファンの皆さん、ごめんなさい(笑)

一方、国外に目を移せば「戦」という字に代表されるイラク戦争。バグダッドの陥落時よりも死傷者が増えている有様。国際的なテロ組織が標的として我が国までターゲットにしていると宣言してますます混乱の度がまっています。この会報が発行されている時期は自衛隊が派遣されているはず。一人の怪我もなくイラクに恒久の平和をもたらす任務を完了して無事全員揃って帰国することを祈ります。

(M)